



乳がんドック

このような方におすすめ

- 飲酒習慣
- 喫煙習慣
- 初潮が早い（11歳以前）
- 初産年齢が高い
- 閉経が遅い
- 閉経後の肥満
- 出産経験がない
- 授乳経験がない
- 家族歴

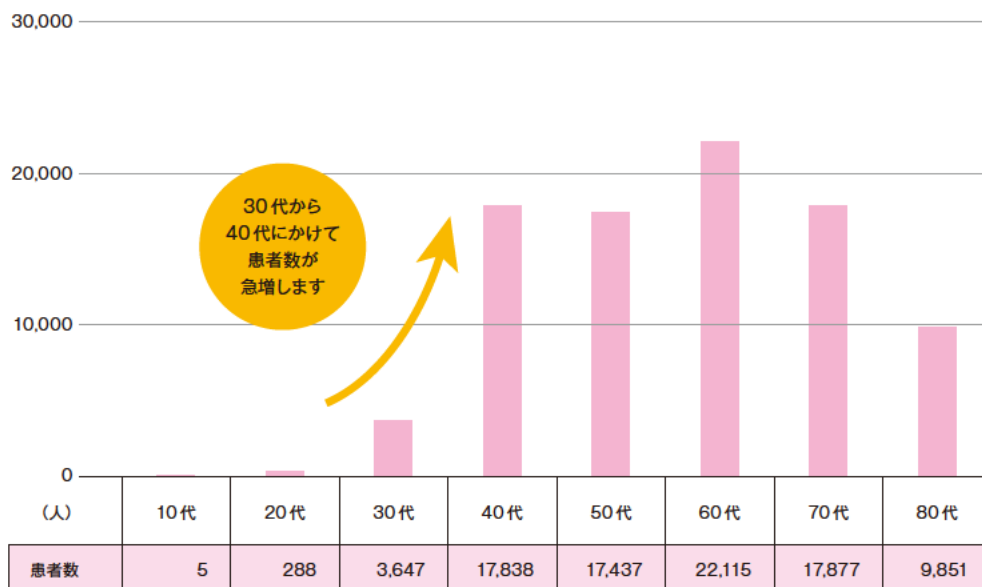
早期発見、早期治療が命を守ります

乳がんは早期に発見することで治癒率が高くなります。しかし、しこりの大きさが小さい早期がんをご自身で見つけることは難しいです。少なくとも2年に1度、親子・姉妹に乳がんの方がおられる場合は毎年、定期的な検診をおすすめします。

※生理前を避けることでマンモグラフィ検査時の痛みが軽減されます。

※女性スタッフが対応いたします。

■ 2017年 新規乳がん患者数（年代別）



国立がん研究センター がん対策情報センター「がん登録・統計」(2017年)

検査項目

- マンモグラフィ
- 乳房超音波



子宮頸がんドック

このような方におすすめ

- 妊娠、出産経験がない
- 月経不順
- 不正出血
- 初潮が早い（11歳以前）
- 閉経が遅い
- 家族歴

症状が表れにくいから、検診で定期的にチェック

子宮頸がんは子宮の入り口にできるがんで、ほとんどが性交渉により感染する「HPV（ヒトパピローマウイルス）」が原因です。子宮頸がんは40代が最も多く20代後半から増えてくるので若い方も注意が必要です。卵巣がんは早期にはほとんど症状がなく、進行してから下腹部の張り、圧迫感、痛みやしこりを伴って発見されることの多い疾患です。20歳以上の方は、2年に一度の検診が推奨されています。どちらも早期に症状が表れにくいので、定期的なチェックをお勧めします。

※女性スタッフが対応いたします。

■ 2017年 子宮頸がん患者数（年代別）



国立がん研究センター がん対策情報センター「がん登録・統計」(2017年)

検査項目

- 子宮内診
- 子宮頸がん検査（子宮頸部細胞診、HPV検査）
- 経腔超音波